

## 第一種電気工事士免状の交付申請について（認定を受ける場合）

### 1. 申請対象者

- ・電気主任技術者になった後に電気工作物の工事・維持・運用に5年以上従事し、**島根県内に住民票をお持ちの方**
- ・高圧電気工事士試験に合格し、電気工事の経験が3年以上の**島根県内に住民票をお持ちの方**

### 2. 提出書類等

#### (1) 電気工事士免状交付申請書（様式1）

- ・電気工事士免状を受ける資格は4に○印を付けてください。

#### (2) 電気工事士法第4条第3項第2号の認定申請書（様式3）

- ・様式3の記入例を参考に記入してください。

#### (3) 電気主任技術者免状の交付を受けた方あるいは電気事業主任技術者であることを証明する書類（写し）又は高圧電気工事技術者試験に合格したことを証明する書類（写し）

#### (4) 実務経験証明書（様式2）

- ・電気主任技術者あるいは電気事業主任技術者としての実務経験を証明・・・記入例②を参照
- ・電気主任技術者あるいは電気事業主任技術者または高圧電気工事技術者として工事経験を実務経験を証明・・・「第一種電気工事士免状の交付申請について（試験合格の場合）」の実務経験証明書の該当する工事経験の記入例を参照
- ・法人の場合で、証明者が当該法人の代表者から証明行為を委任された者である場合は、代表者から証明者への委任状を添付してください。（例 支店長、営業所長、工場長等）
- ・一般用電気工作物の工事での実務経験証明の方は「第二種電気工事士免状」の写しを、500kW未満の自家用電気工作物の工事での実務経験証明の方は「認定電気工事従事者証」の写しを添付してください。

※いずれの場合も実務経験証明書の「職務の内容」欄に資格名と取得日を記載してください。

#### (5) カラー写真1枚（貼らずに提出）

- ・**縦4cm、横3cm**。申請書提出前6か月以内に上半身、無帽、無背景で正面から撮影したもの。裏面に油性ペンで氏名を消えないように記載してください。

★画像イメージ、不適切な例など注意事項の詳細を、**別添<免状申請に必要な写真についての注意事項>**で必ず確認してください。

#### (6) 免状交付手数料（電気工事士免状交付申請書に納付済証を貼り付けて提出）

- ・手数料等納付書により6,000円を事前に納付し、その際に返却があった**納付済証**（領収証書ではないのでご注意を）
- ・手数料等納付書は、島根県庁産業振興課で入手できます。別添の納付方法の注意事項「納付書による納付方法」を必ずご覧ください。

#### (7) 住民票の内容が確認できる書類 ※「住基ネット」での確認を希望しない場合

- ・住民基本台帳ネットワーク（住基ネット）により申請者の氏名等を確認しますので、原則として住民票の内容が確認できる書類の提出は不要です。

※住基ネットでの確認を希望しない場合は、住民票（6か月以内。コピーは不可）、または、運転

免許証の両面のコピーやマイナンバーカードの表面（番号記載の裏面不要）のコピーなどで

**鮮明なもの**を提出してください。

- ・外国人の方で通称名での免状作成を希望される場合は住民票の提出が必要です。

(8) 免状送付先 **※申請書記入住所と異なる住所へ送付を希望される場合**

- ・「郵便番号」「住所」を記載した書類（様式任意）を添付してください。
- ・免状は簡易書留で送付しますので、受取人がいる住所としてください。

### 3. 書類が不備の場合の注意事項

- ★ 必要書類の不足、写真が不適切など内容等で確認が必要な場合には手続きが止まります。

不備事項の補完後にあらためて手続きを進めることとなりますので、日中でも連絡が取れるよう勤務先・学校などの連絡先も加えて記載してください。

- ★ 書類等の再提出が必要となった場合は速やかに提出してください。

### 4. 提出先（簡易書留または持参でご提出ください）

〒690-0884 松江市南田町125-45 島根電設会館内  
島根県電気工事工業組合  
TEL 0852-21-7433 FAX 0852-31-8488

(様式1)

## 電気工事士免状交付申請書

令和 年 月 日

島根県知事 殿

〒

申請者 住 所 \_\_\_\_\_

(フリガナ)

氏 名 \_\_\_\_\_

生年月日 ( 昭和 ・ 平成 )

\_\_\_\_\_ 年 月 日生

(携帯、勤務先、学校、自宅、その他< >連絡先TEL①: \_\_\_\_\_ )

(携帯、勤務先、学校、自宅、その他< >連絡先TEL②: \_\_\_\_\_ )

電気工事士法第4条第2項の規定により第一種電気工事士免状の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎電気工事士免状を  
受ける資格

- 1 第一種電気工事士試験に合格し、かつ、実務経験を有する
- 2 第二種電気工事士試験合格
- 3 養成施設終了
- 4 認定

※ 受 付 欄

※ 経 過 欄

(納付済証貼付欄)

※手数料の金額をお間違えないようご注意ください。

※手数料の間違い(過納、不足)に伴う簡易書留発送費用等は申請者負担とさせていただきます。

(様式2)

### 実務経験証明書

フリガナ		生 年 日 月 日	昭和	年 月 日
氏 名			平成	
現 住 所	〒 (TEL )			
現在の勤務 先の名称及 び所在地	名 称			
	所在地	〒 (TEL )		
実 務 経 験 の 期 間 及 び 内 容				
所属部署及び 役 職 名	期 間	職 務 の 内 容		
	年 月 日 ~ 年 月 日 年 月 日 ~ 年 月 日			
通 算 期 間	年 月			
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。 令和 年 月 日 所在地 〒  法 人 名  電気工事業法登録番号 (みなしを含む) :  代表者氏名 印  (法人以外の場合にあっては事業所名及び任命権者等の氏名)				

(様式3)

電気工事士法第4条		第3項第2号 第4項第3号	の認定申請書
		令和	年 月 日
島根県知事 殿		〒	
		申請者 住 所	_____
		氏 名	_____
		生年月日	_____年 月 日生
第3項第2号 電気工事士法第4条		の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。	
第4項第3号			
申請に係る電気工事士免状の種類			
◎ 電 気 工 事 に 関 する 資 格	電気工事等に関して合格した試験、検定、免許、免状又は認定	試験、検定、免許、免状又は認定の種類	
		資格取得年月日	年 月 日
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数		年 月
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数		年 月
	屋内配線又は屋側配線業務の経験年数		年 月
修了した講習	名 称		
	修了年月日		年 月 日
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

(備考)

- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
- ※印欄には、記入しないこと。
- 氏名を記載し、押印することに代えて、自署することができる。  
この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

(様式1)

記入例①

【凡例】

青字：記入例

吹出：注意事項

電気工事士免状交付申請書

住所は住民票住所を記載してください。集合住宅名・部屋番号まで記載してください。

島根県知事 殿

令和 ○年 ○月 ○日

〒○○○-○○○

申請者 住所 ○○市○○町1番地1 □□団地

◇階△△号

(フリガナ) シマネ タロウ

氏名 島根 太郎

旧字体なども住民票どおり記載してください。

生年月日 ( 昭和・平成 )

○○年 ○月 ○日生

携帯電話等、日中でも連絡がとれる番号を加えて複数記載してください。

(携帯、勤務先、学校、自宅、その他) > 連絡先TEL①：1234-56-7890

(携帯、勤務先、学校、自宅、その他) > 連絡先TEL②：123-4567-8900

電気工事士法第4条第2項の規定により第一種電気工事士免状の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎電気工事士免状を受ける資格

- 1 第一種電気工事士試験に合格し、かつ、実務経験を有する
- 2 第二種電気工事士試験合格
- 3 養成施設終了
- ④ 認定

※ 受付欄

※ 経過欄

(納付済証貼付欄)

※手数料の金額をお間違えないようご注意ください。

※手数料の間違い(過納、不足)に伴う簡易書留発送費用は申請者負担とさせていただきます。

(様式2)

記入例②：電気主任技術者の実務経験

【凡例】

青字：記入例

吹出：注意事項

実務経験証明書

フリガナ	しまね たろう		昭和 ○○年 ○月 ○日
氏名	島根 太郎		生年月日 平成 令和
現住所	〒○○○-○○○○ ○○市○○町1番地1 (TEL 1234-56-7890)		
現在の勤務先の名称及び所在地	名称	(株) ○○	
	所在地	〒○○○-○○○○ ○○市○○町2番地2 (TEL 2234-56-7890)	
実務経験の期間及び内容			
所属部署及び役職名	期間	職務の内容	
○○営業所	平成27年4月1日 ～ 平成31年4月30日	電気主任技術者免状取得：平成25年4月1日 期間中、電気主任技術者の指揮監督の基、当社と委託契約を交わしている○○ビル（最大電力800kW）に派遣され、電気設備全般について保安規定に基づく日常・定期点検を実施したほか、負荷管理、改修工事を行った。（電気主任技術者は○○会社で選任）	
	令和元年5月1日 ～ 令和2年3月31日	期間中、自社ビル（600kW）の定期点検を実施したほか、負荷管理、改修工事、係員指導監督等を行った。  【主な工事件名】 ・○○製作所の工場増設工事	
通算期間	5年0月		
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。 令和6年4月1日 所在地 〒○○○-○○○○  法人名 (株) ○○  電気工事業法登録番号（みなしを含む）：  代表者氏名 代表取締役社長 ○○ ○○ 印  (法人以外の場合にあっては事業所名及び任命権者等の氏名			

法人の場合で代表者以外の証明の場合には委任状の提出が必要

(様式3)

電気工事士法第4条 <b>第3項第2号</b> の認定申請書 第4項第3号 令和〇年 〇月 〇日			
島根県知事 殿 〒〇〇〇-〇〇〇〇			
申請者 住所 <u>〇〇市〇〇町1番地1</u>			
氏名 <u>島根 太郎</u>			
生年月日 <u>平成 〇〇年 〇月 〇日生</u>			
第3項第2号 電気工事士法第4条 の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。 第4項第3号			
申請に係る電気工事士免状の種類	第一種電気工事士免状		
◎ 電 気 工 事 に 関 する 資 格	電気工事等に関して合格した試験、検定、免許、免状又は認定	試験、検定、免許、免状又は認定の種類	電気主任技術者または高圧電気工事技術者
		資格取得年月日	平成〇〇年 〇月 〇日
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数		電気工事の経験年数 実務経験通算期間と一致させる 3年6月
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数		電気主任技術者の経験年数 実務経験通算期間と一致させる 5年 月
	屋内配線又は屋側配線業務の経験年数		年
修了した講習	名称	該当があれば記載	
	修了年月日	年 月 日	
※ 受付欄		※ 経過欄	

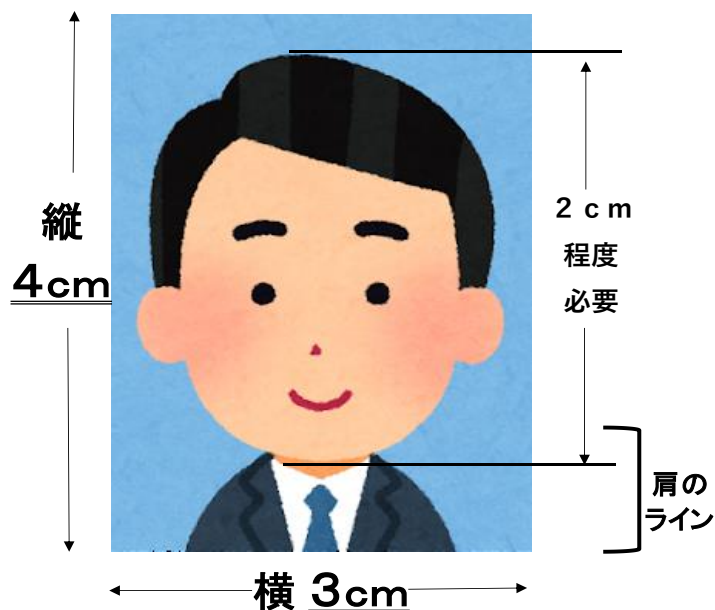
(備考)

- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
- ※印欄には、記入しないこと。
- 氏名を記載し、押印することに代えて、自署することができる。  
この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

## <免状申請に必要な写真についての注意事項>

必要枚数 カラー写真1枚

- ★肩のラインまで写すこと
- ★頭のとっぺんからあご先まで2cm程度とする
- ★サイズを守ること
- ★正面から、帽子なし、背景なし
- ★写真裏面に氏名を油性ペンで消えないように記載する



### × 免状用写真として「不適切」な例

>> あらためて提出を依頼する場合があります

- × 写真サイズが指定の寸法以外のもの
- × 横向きの顔や、真正面からではなく下から写したもの(自撮りなど)、頭の輪郭が隠れているもの(頭、耳、あごの一部が写っていないなど)
- × 髪、メガネのフレーム、帽子、装飾品などで、目の一部や顔や頭が大きく隠れているもの
- × 照明がメガネに反射したもの
- × 顔が影で暗すぎるもの
- × 歯を見せた笑顔や仮装など平常時と著しく異なるもの
- × 頭、髪、服装などと背景の境界が不明瞭なもの(背景が白や淡いグレーで白いシャツの場合など)
- × 目や顔の大きさなど画像を加工したもの
- × カラープリンター印刷など写真専用紙でないもの
- × 写真が不鮮明なもの(ピンぼけ、手振れ、デジタル写真のギザギザなど)
- × そのほか、免状用として適当でない写真の場合は受付できません

※特に、写真店や証明写真撮影機を利用されない場合は、写真が暗すぎたり、背景に影や壁の柄が写っている、顔が大きすぎる、下向き、など適当でない場合が多いので注意してください